

やぎさんの

アオハル伝言板

2021/5/17

二宮西中学校 事務室発



お久しぶりです☆あっという間に1ヶ月が過ぎ、待ち遠しかったはずのゴールデンウィークも終わってしまいました。西中生の皆さんはどんなゴールデンウィークを過ごしましたか？まだまだ安心してお出かけできない世の中…いつもより長いおうち時間の中で私は3Dパズルを作ってみたり、録画していた番組を見たり、家族のために山梨県名物の“ほうとう”を作ってみたりしました。“ほうとう”って、おうちの数だけこだわりがある家庭料理だって知っていましたか？矢崎家もね、お味噌の種類とカボチャの量にこだわっているんですよ(*´艸`)

さて、前回の事務だよりの中で私は“西中の良いところ探し”を頑張ります！と宣言しました。西中生の皆さんと出会って1ヶ月。どんな良いところが見つかったのでしょうか？

西中の良いところ1つ目！気さくで温かい西中生の人懐っこさ！私が通学路や廊下を歩いたり、図書室に立ち寄ったりしていると“やぎさん”と声をかけてくれる子が何人もいます。お昼休み、ジャニーズの話をしにわざわざ事務室まで来てくれる子も(笑)学校でお仕事をしているからには子どもが好んで、生徒の皆さんと沢山関わりたいのが本音なのですが、ふだん皆さんの近くでお仕事をする機会は少ないので、何気ない日常会話ができる時間をもてるのはすごく嬉しいです。それに“やぎさん”と呼んで話しかけてくれたということは、私の1枚目の伝言板をちゃんと読んでくれたってことだね。私のことを知ろうとしてくれて、私のことを西中の仲間として受け入れてくれてありがとう♡

西中の良いところ2つ目！ふとした瞬間に感じる思いやりの気持ちと心のこもった挨拶！あれ？と思った3年生はいませんか？この2つ、道徳の授業で考えたような…？
種明かしをしましょう☆



やぎさんのお仕事紹介 パート1 ～大切なお便りを繋いでいます～

事務だよりでだけでなく、学校だよりの・保健だよりの・学年だよりの・学級通信…などなど。

学校は沢山のお知らせ(お便り)を皆さんや保護者の方、地域の方に出しています。そこに間違った情報が載ってしまうと、それを読んだ多くの人が困ってしまうので、配る前には“いくつもの目”で確かめる必要があります。(テストの見直しを想像してみてください。)その“いくつもの目”の初めの1人が私であり、いつも沢山のお便りを読んでいるというわけなのです。特に先生方が書かれている学級通信は、ふだん見ることでできない皆さんの様子を知るための手がかりになります。“クラスでこんなことがあったんだ”、“西中生はこんな風に周囲の人を思いやることができるんだ”、“挨拶の奥深さを感じたんだね”…などなど。微笑ましい発見で溢れているので、読むのがとても楽しみです♪

また、学校から出すお便り同様、お外からもらうお便りを受け付けて、関係する先生に渡すのも私のお仕事です。学校の中を行き交う情報は、どれも大切に、正しく管理されていなければなりません。お外からもらうもの・誰かに手渡すもの、そのすべてに『学校として』受け取った責任・伝えた責任が伴います。いつ、誰が、どんなお便りをもらい・発信したのか、きちんと記録できるように統一窓口の門番となり、大切な情報をミスなく繋ぐお手伝いをしているんですよ(*^^*)

(次回は体育祭に関わるお仕事紹介???)

やぎさんこと、矢崎 理恵)

